

(別添2)

【宮崎県】

ネットワーク整備計画

1 必要なネットワーク速度が確保できている学校数、総学校数に占める割合(%)

「校内通信ネットワーク環境整備等に関する調査」(文部科学省・令和5年11月実施)の結果では、「学校規模ごとの当面の推奨帯域」(文部科学省・令和6年4月)を超える学校数は7校であり、総学校数に占める割合は、46.7%である。

また、同調査によると、「ネットワークが遅いと感じることがあるか」という設問に対して、「よくある」「たまにある」と回答した学校が、15校中13校あった。

※15校の内訳は、県立中学校2校、中等教育学校1校、特別支援学校小学部・中学部12校である。

2 必要なネットワーク速度の確保に向けたスケジュール

(1) ネットワークアセスメントによる課題特定のスケジュール

本県においては、令和4年度及び令和5年度において、補助対象の15校でネットワークアセスメントを実施し、既にネットワーク速度の確保に向けた課題を特定している。

(2) ネットワークアセスメントを踏まえた改善スケジュール

令和4年度及び令和5年度に実施したネットワークアセスメントの結果を踏まえ、令和5年度後半から一部の学校において改善のための実証実験を行い、令和6年度から補助対象の15校も含めた改善策を行っていき、年度内に改善策を完了させる。

(3) ネットワークアセスメントの実施等により、既に解決すべき課題が明らかになっている場合には、当該課題の解決の方法と実施スケジュール

ネットワークアセスメントの結果から、既存ISPの通信性能が学校の実態に即していないことが判明した。それにより、通信の応答遅延(レイテンシ)に、ばらつきが大きくなり、混雑の原因につながっていると推定された。

そこで、以下のスケジュールでISPの変更を行い、新たなISPによるネットワーク改善を検証していく予定である。

令和5年 7月	一部学校におけるISP変更の実証実験
8月～3月	実証実験の検証作業
令和6年 6月	補助対象校15校ISP変更
12月	アンケート調査実施